

68 増養殖対策

【863(1, 198) 百万円】

対策のポイント

種苗供給を輸入に依存している魚種についての国内産人工種苗を用いた養殖手法の開発、外来魚等の駆除技術の高度化を支援します。

<背景／課題>

- 我が国の漁業生産量がピーク時から半減している中で、消費者に対して水産物を安定供給していくためには、水産物の増殖及び養殖を一層推進する必要があります。

政策目標

- カンパチ養殖用種苗の10%を国内産人工種苗で供給（平成26年度）
- 駆除技術を高度化し、10湖沼で外来魚を激減（平成26年度）

<主な内容>

1. 海面養殖に関する支援事業

349(491) 百万円

種苗供給を輸入に依存している魚種（カンパチ等）についての国内産人工種苗を用いた養殖手法の開発、微生物汚染等のリスク回避のための養殖生産管理手法の見直しの取組、ノリの色落ち防止のための水質管理手法の開発について支援します。

持続的養殖生産・供給推進事業 47(79) 百万円
海面養殖振興対策事業 302(412) 百万円
補助率：定額、1/2
事業実施主体：民間団体等

2. 内水面漁業振興対策事業

210(304) 百万円

カワウ・外来魚の駆除、内水面の重要魚種の増殖手法の開発、内水面の水産資源の生育環境改善の取組、ウナギ資源の増殖の取組について支援します。

補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：民間団体等

3. 増殖に関する支援事業

304(380) 百万円

広域に移動する魚種の種苗放流による資源造成、高品質なさけ・ます資源の造成のための放流適地の調査について支援します。

種苗放流による資源造成支援事業 114(143) 百万円
さけ・ます資源高品質化推進事業 190(238) 百万円
補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：民間団体等

[お問い合わせ先：水産庁栽培養殖課 (03-3501-3848(直))]